

## 「現場紹介・宗像篠栗線犬渕橋橋梁架替事業」

直方支部 直方県土整備事務所 溝部 洋介

私が福岡県に入り、直方県土整備事務所です仕事をするのも1年半以上が経った。1年目は、土木行政とは何かを研修と実務でとりあえずこなしていく日々であったが、2年目に入った今年は、1年間の仕事の流れが少し分かってきたので、1年目よりは全体を考えて行動していると思う。そんな1年目の慣れ始めた頃から今現在携わっている業務が、県道宗像篠栗線犬渕橋の橋梁架替事業である。

県道宗像篠栗線は、起点を宗像市東郷、終点を篠栗町にし、宗像市、宮若市、篠栗町を縦断する主要地方道である。そのうち、直方県土整備事務所管内は宗像市と宮若市の市境にある磯部峠を通り、福岡直方線と交差した後、脇田温泉街を抜け、山を越えて八木山川とぶつかり、犬渕橋を渡り、篠栗町との境である猫峠までである。昔は鳴渕宗像線と呼ばれていたらしい。ちなみに、脇田温泉から犬渕橋までの山を越える部分については、いわゆる“険道”と言われるオフロードと化しており、一般車はまず通り抜けられないが、ナビで出てくるときもあるため注意していただきたい。

その中でも犬渕橋は、力丸ダムの上流の八木山川にかかる橋である。昭和37年竣工、全長約17mであるが、橋脚があり、基準径間長を満足していない橋梁で、治水上的問題もあるため架け替えが必要とされている橋梁である。また、犬渕橋を含む一部の区間は、宗像篠栗線道路改築事業が完了すると宮若市に移管するため、移管の条件としても架け替えをする必要がある。

私がこの事業を担当し始めたときは、事業としては2年目であって調査や設計が主であった。

事業の流れとしては、現地測量、地質調査→橋梁・道路予備設計→橋梁・道路詳細設計→用地測量→用地買収→工事発注であるが、私が担当しているのは、橋梁詳細設計・道路詳細設計からである。

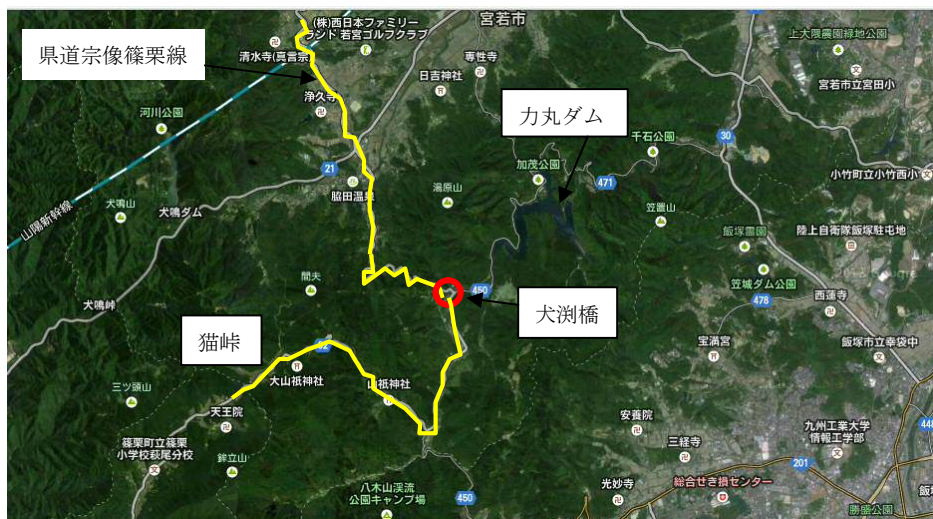
私が新採であることから、当初から係長に協議に入ってもらっていたが、協議の量に驚かされた。各段階において、ルート協議や構造協議、区域変更や河川法第24条26条に基づく申請等の事務的手続き等があり、さらには宮若市や関係機関との協議、地元や漁業組合に向けた説明会の開催等、私が福岡県に入って初めてすることばかりであった。

さらに、河川内の工事が非出水期にしかできないことから、今年度から工事を行うと考えると、用地測量から用地買収までを半年で行わなければいけなかったため、非常にタイトなスケジュールで行動をしていかなければならなかった。

幸いなことに、規模が小さいことから用地買収の地権者は少数で、事業に理解のある方々ばかりであったため用地はご協力していただけることとなり、工事発注にこぎつけることができた。

今回の事業に携わったことで、小さい事業でも公共工事の流れを経験できたことは、非常にためになった。しかしながら、工事は始まったばかりであり、今後も調整ごとは多くあるだろうし、工事の担当でもあるので、とりあえずは目の前にある業務からコツコツとこなしていきたい。

## 地図



## 写真：犬湧橋



鮎が良く釣れるスポットらしい。